



TCVBミーティング (第8回・第9回) 開催報告

第8回TCVBミーティング

「増える外国人旅行者にどう対応する? 東京のインバウンド受入・医療最前線」開催報告

TCVBでは年に10回以上、各分野の専門家による観光産業に関連するテーマのセミナー「TCVBミーティング」を開催しています。第8回目の開催テーマは「インバウンド医療」。旅行会社・オンライン診療サービス開発・医療現場の第一線で活躍する3社を講師としてお招きし、インバウンド救急対応の実情、東京など大都市の傾向についてご講演いただきました。

訪日インバウンドが益々拡大している中、訪日中に体調不良になる割合は約4%*ほど。そのうち7割以上*が風邪・腹痛など、緊急度の低い症状であることがわかっています。

第一部の講演では、JTBグローバルマーケティング&トラベル人見様から、訪日旅行ツアー中で実際に発生した緊急搬送や手術、入院まで至った事例紹介やそのときの対応、続いてエムスリーキャリア岩井様から、ホテルからすぐに医師につながる24時間22言語の医療通訳者付きオンライン診療「HOTEL de DOCTOR 24」活用による、不要不急の救急医療削減に向けた取組について解説いただきました。最後に、インバウンド救急外来や国際救急医療サービスも展開されている春山記念病院で医療コンシェルジュを務める五十嵐様より、外国人医療に伴う様々な課題に対応する病院の体制や、来院される患者の傾向、海外旅行保険の清算方法や現場で役立つ医療知識と予防策など、医療現場の最前線をお話いただきました。

第二部では春山記念病院の井口医師を交えた4名でクロストークを実施しました。

「旅行者/患者をどうサポートするか」「観光&医療現場の連携のありかた」「未来の展望」などのテーマについて、第一線でインバウンドを受け入れている経験により培われた知見を基に、示唆に富む意見が交わされました。

*観光庁 訪日外国人旅行者の医療に関する実態調査等



第9回TCVBミーティング

「配慮ある旅のあり方とは ツーリストシップでできること」

続く第9回のTCVBミーティングのテーマは「ツーリストシップ」。一般社団法人ツーリストシップ代表理事田中千恵子様をお迎えし「脱オーバーツーリズムの旅行術」を題材に講演いただきました。



第一部の講演は、オーバーツーリズムという言葉が生まれた背景や国内外の現状から始まり、ツーリストシップ様が考える観光まちづくりで大切な以下の『4つのバランスと2つのケア』について紹介されました。

- 【受け入れる旅行者数のバランス】【文化の継承と変容のバランス】【まちの変容のバランス】【外資と内資の経済のバランス】
- 【社会課題のケア】【環境負荷のケア】

これらについて、受け入れる地域側だけでなく、旅行者にも出来ることがあるのではないかと、との思いから生まれたのが「ツーリストシップ」という言葉。旅先に配慮したり、貢献しながら、交流を楽しむ姿勢やその行動を指しています。そして、具体的にどのような行動がツーリストシップなのかを示すためにまとめられたのが「ツーリストシップ行動集」です。

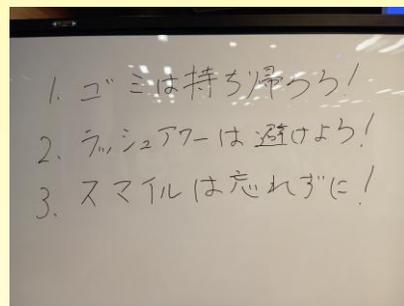
第二部はワークショップ形式で、班ごとに「東京ツーリストシップ3か条」を作るとしたら…?をテーマにディスカッション。多くの旅行者が訪れる東京ですが、そこで働き、暮らす立場でもある参加者の皆様の視点で、様々な意見が出されました。例えば、1. ゴミは持ち帰ろう! 2. ラッシュアワーは避けよう! 3. スマイルは忘れずに! 等です。

また、これらをタビマエに効果的に旅行者に伝えるには、どのようなメディアや手段を使えば良いのかについても活発な議論がなされ、出来るだけ広く周知するには公的機関からの呼びかけが必要という意見も多く聞かれました。

●参加者の声

「ツーリストシップ田中さんの熱意と信念と行動力に感銘を受けました」

「ツーリズムにかかわる者として推進していくべき課題を再認識することができました」



令和7年度第3回会員施設視察交流会「ザ・プリンス パークタワー東京」開催報告

2月13日（金）、今年度第3回目となる会員施設視察交流会を、開業から20周年を迎え、2025年10月に最上階33階のレストラン・バー・宴会場フロア及び32階のスイートルーム・クラブラウンジを全面改装しリニューアルオープンした「ザ・プリンス パークタワー東京」にて実施しました。

当日は、東京のシンボル・東京タワーを間近に望む会場（33階・スカイバンケット）にて、ザ・プリンス パークタワー東京様より施設についてご紹介をいただいた後、リニューアル施設を含むホテル内の視察見学、参加会員同士の交流会を実施しました。ご参加いただいた会員様より開催後のアンケートにていただいたコメントを一部、抜粋で紹介いたします。

- ・新しいスイートやお部屋、ラウンジ、バーを見学出来て、今後の手配のための参考になりとてもよかったです。見学後の交流会では、ツアーに特典として付け加えられそうな、取引先との相談もできて、そちらも収穫がありました。
- ・当日ご案内いただいた、ザ・プリンス パークタワー東京のスタッフの方々の懇切丁寧なご対応に感銘しました。同業として、施設の素晴らしさを知り得ることが出来、非常に参考になりました。
- ・施設の強みを最大限に活かした改装を見せていただき、大変勉強になりました。
- ・各種行事を企画する場合の「会場」の候補として、多様な規模・仕様の空間を拝見でき、参考になりました。

東京観光財団では、東京都内のホテル、MICE施設、ユニークベニューなどの視察等、今後も会員の皆様の期待に沿えるような交流会やイベントを随時企画して参ります。



令和7年度 アドバイザリー会議（第2回）開催報告

東京の観光振興のために実施する事業の方向性等について、外部識者等から幅広く意見及び助言を聴取し、議論する会議を、年に2回実施しています



議題1. PRIMEの改訂に何を盛り込むべきか

<ディスカッションテーマ>

- 東京の観光で最も優先的に解決すべき課題は何か
- 住民の観光受容度を下げずに、更なる経済的な成長を遂げるために、東京都・財団・民間ができることは何か 等

<ポイント>

- ・リピーターが増えるとより地域住民と似た交通手段を使うことになり、交通機関で住民とのバッティングが起こってしまう。旅行者へは時間帯をずらす等の情報発信、地域住民へは受け入れのための勉強会等が必要
- ・MICEにおいても、現地で参加する事の価値や意義が強求められている。レガシーやインパクト、地域への貢献をどう測るかは、地域住民との連携が非常に重要
- ・都民が観光に対して日常生活の中でどのような負担や反感を感じているのかを把握するため、居住形態や職業等の属性別に住民意識調査を行う必要がある。また、特にマナー問題は国・地域によって認識が異なるため、解像度を上げて取り組み、実態に基づいた対応をすると共に、入国前から“体験価値”として伝える工夫が求められる
- ・奥多摩エリアにおいても外国人の急増の影響で、生活圏へ侵入されていると感じる住民が増えてきている。摩擦が大きくなる前に、訪れる側が地域に配慮ある行動をとれるよう意識を高める必要がある

議題2. 2026年も継続して着目すべき2025年に話題・課題になったキーワード

<ディスカッションテーマ>

- キーワードの中で、特に2026年も継続して着目すべきテーマは何か

<ポイント>

- ・日常生活を「ローカル」とすると、「ニッチ」と「ディープ」は何を指すのか、また販路を広げるプレーヤーは誰なのか。東京は一般化された体験（茶道・着付け等）は溢れているが、例えば集落の祭りへの参加等、よりニッチなコンテンツの場合は地域のプロバイダー（ガイド）がいるエリアの方が都心よりも進んでいる
- ・「おもてなし」のワードは非常に曖昧。ボランティア精神や過剰な親切心が余分な費用増や住民の負担を生んでいるのでは。対価を得てきちんとしたサービスを提供すること、ローカルのように振る舞うコツを旅行者に伝えるのも「おもてなし」なのではないか。
- ・円安に頼らない持続可能な観光、地政学リスク、反中感情
- ・観光客の分散化、広域化と平準化。環境等への配慮のPRのため、多摩の西側が国立公園であることの打ち出しを。自然型観光へも注目を
- ・AIやテクノロジーへの対応。都やTCVBが持っているデータの活用と、事業者へ分かりやすい形で展開することが重要

TCVBサイトにて議事録を公開中！詳細は[こちら](#)をご覧ください。

次ページからは、新規賛助会員様 13社（令和7年10月～12月ご入会）を紹介いたします。

新会員紹介

長谷観光株式会社

<https://www.iisaku.co.jp>

1931年創業の老舗料亭「つきじ治作」は、旧岩崎邸別邸にてその伝統を受け継ぎながら、現代の感性を融合させたおもてなしを提供しています。800坪に及ぶ日本庭園には錦鯉が泳ぐ池が広がり、四季折々の景観をすべての客室からご覧いただけます。名物「水たき」をはじめ、旬の食材を活かした多彩な日本料理をご堪能いただけるほか、国際的なパーティーやMICEイベントの会場としても活用され、国内外の著名人やVIPの皆様を数多くお迎えしてまいりました。さらに、伝統芸能の披露や和文化体験の場としても親しまれ、撮影ロケーションとしても高い評価を受けています。歴史と革新が融合するユニークベニューとして、日本の美とおもてなしを世界へ発信する特別な空間です。

株式会社ソーコムデザイン・マーケティング

企業や行政の社会・事業課題に寄り添い、丁寧なヒアリングと確かな分析で可視化し、解決への道筋を描きます。マーケティングリサーチを軸に、課題に応じた最適な手法を柔軟に組み合わせ、戦略立案からブランド構築、施策実行までを一貫して支援し、社会とコミュニケーションを結びながら新たな価値を創造します。

株式会社クライド

<https://craid-inc.com/>

アドテクノロジー事業 デジタルサイネージ事業 受託開発・オフショア開発事業 WEBメディアコンサル事業 WEBメディア運営事業 アドテクノロジー事業 法人/ビジネスパーソン向けに特化したディスプレイ広告配信プラットフォーム「ADMATRIX DSP」などを開発・提供しています。アドテクノロジー事業/インバウンド媒体：WABITABIは、株式会社クライドが提供する 訪日インバウンド向けDSP（ディスプレイ広告配信プラットフォーム）です。大きな特徴として、在日外国人を除外して「訪日外国人」のみを対象に広告配信できる技術を自社開発し、特許化しています。多数の訪日インバウンドメディア/アプリ/DMPと連携しており、国・言語・地域などを細かくセグメントして配信することができます。利用用途としては、地方自治体の観光誘致、宿泊施設/飲食店/商業施設の集客、Wi-Fiレンタル/SIMカード/配車サービスなど、インバウンド消費を喚起したい企業向けに幅広く適用されます。デジタルサイネージ事業 オフィスビル内などに設置されたサイネージ「VIFT」によって、ビジネスパーソン・経営層に向けた広告訴求を実現しています。メディア開発・支援事業 ビジネスパーソン向けITサービス・メディアの運営・支援を行い、広告枠運用・計測・分析までを包括的にサポートしています。受託開発・オフショア開発事業 海外拠点と連携し、高品質・コスト効率の高いソフトウェア開発サービスを提供しています。

合同会社ALOHAマンガ

<https://www.alohamanga.com/>

池袋を拠点に、訪日外国人向け「MANGA DOJO TOKYO」を運営しています。日本の漫画文化を体験できるワークショップを通じ、国籍や世代を超えて“描く楽しさ”を共有しています。プロ漫画家による指導と、文化交流を重視した体験で、多くの旅行者に日本の創作文化の魅力を発信しています。

株式会社ネルケプランニング

<https://www.nelke.co.jp/>

1994年の創業以来、演劇を中心に多くのエンターテインメントを世の中に送り出しています。2.5次元ミュージカルと呼ばれる漫画、アニメ、ゲームを原作とした演劇作品や、ストレートプレイ、ブロードウェイ作品、オリジナル作品など、多様な演劇ジャンルで、制作、キャスティング、権利開発、中国事業を手掛けています。

表示灯株式会社

<https://www.hyojito.co.jp/>

地図・案内サインを源流とし、1967年の創業以来、地域活性化と社会課題の解決に貢献することを目指してきました。特に観光分野では、デジタルサイネージ、デジタル・イラスト・マップ、Web道案内、周遊プラン生成サービスなど、多岐にわたるソリューションを提供し、観光客と地域のより良い関係づくりをサポートしています。

株式会社立飛ホスピタリティマネジメント<https://soranohotel.com/>

東京にあって、東京にないホテル。新宿駅から中央線で約30分。羽田空港エアポートリムジンで約90分。客室は全室バルコニー付き、パークビューと52㎡以上。1室最大4名様まで宿泊可能。ドッグフレンドリールームもあり。最上階に全長60mのインフィニティプールをはじめ、独自に掘削した温泉水を使用した温浴施設・インドアスパ、ナノミストサウナ、ジムスタジオなど、心身をリセットする施設やプログラムを用意。

ザ・プリンスパークタワー東京<https://www.princehotels.co.jp/parktower/>

羽田空港から車で約15分。東京タワーと並ぶように佇み、芝公園の緑に囲まれたリゾートのような雰囲気を感じさせる、プリンスホテルのフラッグシップホテルです。平均面積40㎡以上の開放感あふれる客室、日本最大級の広さをもつ2つの主宴会場(各2,394㎡)を中心とした全16の宴会場、バラエティー豊かなレストラン・バーを備えています。さらに天然温泉を備えたスポーツクラブなど、人が集い、やすらぐために必要な機能を備えたホテルです。

松乃鮓 (JSCA)<https://matsunozushi.com/>

100年以上続く老舗高級鮓店。四代目・手塚YOSHIは、ヨーロッパ、アメリカ、南半球でプロのスキーガイドとして活躍した後、鮓の道へと進む。本格的で伝統的な江戸前鮓を提供するとともに、「体験握り」や「英語解説付きおまかせコース」「市場ツアー」など、外国人旅行者の皆様に向けた特別な体験プログラムを提供。ベジタリアン、ハラール、コーシャなどの宗教的食文化にも対応している。G20や東京観光財団主催のイベントをはじめ、国際的な催しでも鮓を提供。さらに日本の子どもたちを対象とした食育活動や海洋資源保護にも取り組み、「鮓を通じて日本文化を伝える」ことを理念に日々研鑽を重ねている。

デジタルグリッド株式会社<https://www.digitalgrid.com/company/>

企業と発電家をつなぐ電力・環境価値取引プラットフォーム「DGP」を運営し、再生可能エネルギー活用を促進。電力小売としての特徴は大きく2点あり、「透明性が高い(利用料以外全て原価)」こと、「自由度が高い(電気代の変動リスクを抑えられる)」ことが挙げられます。そのため安心いただける電気プランの設計ができますので、主に工場やホテル、病院といった電力消費の大きい企業様にご選択いただいております。

THE SUMO LIVE RESTAURANT 日楽座 GINZA TOKYO<https://hirakuza.net/sumolp2/>

相撲、和食、江戸文化の魅力を感じながら五感で体験できる新感覚の没入型ショーレストランです。力士の稽古の様子や寄せ太鼓の演出、土俵祭りや化粧まわしをつけた土俵入りなどのリアルを表現することで、相撲の歴史を一層体感できる公演とします。また、食文化を公演項目の一部とし、「GINZA」ならではのこれまでにない文化体験を提供することもポイントです。

学校法人国際文化アカデミー<https://www.jtb-college.ac.jp>

ツーリズム業界の第一線で即戦力として活躍できる総合的な学びを提供する教育機関「JTBツーリズムビジネスカレッジ」を運営しております。学生の「やってみたい」という気持ちを大切に、「最先端かつ実践的な能力の習得」を目指し、志望する業界への理解を更に深め、就職したその先の可能性を広げていくことをサポートしています。

株式会社TJTコーポレーション<https://tjttourism.com/>

インバウンド旅行、M.I.C.E事業を専門とし、主に中東・欧米への手配サービスを展開しています。信頼と顧客の満足をモットーに、各国の文化や言語に精通したスタッフがより良いサービスの提供に努めています。